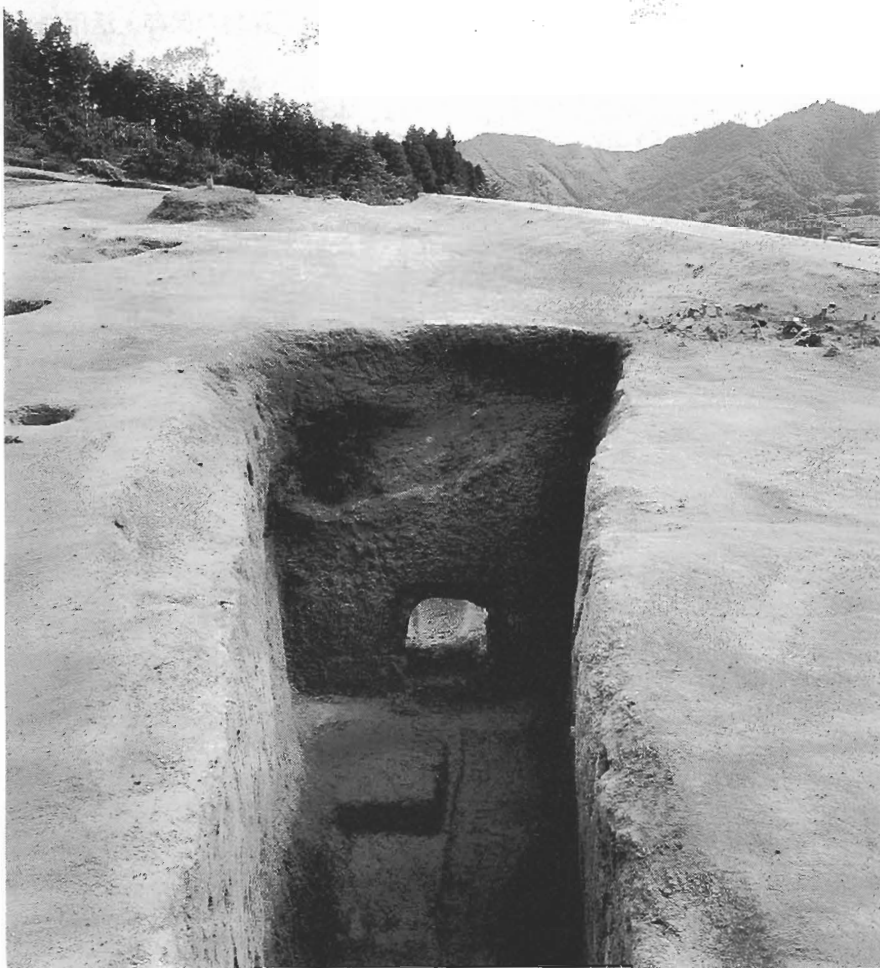


埋 蔵 文 化 財 通 信  
み や ざ き

創 刊 号

平成8年12月27日 発行  
発行 宮崎県埋蔵文化財センター  
〒880 宮崎市神宮2丁目4番4号  
Tel 0985-21-1600  
Fax 0985-26-2634



(写真提供 高千穂町教育委員会)  
(写真撮影 奈良国立文化財研究所 牛島 茂)

□高千穂町吾平原横穴墓群第6号横穴墓□

阿蘇凝灰岩の南向き緩斜面に6.5mの長大な墓道を持つ横穴墓が第6号横穴墓です。玄室は東西2.67m、南北2.5m、高さ0.9m。中央通路を挟んで左右に屍床を彫り込んでいます。左屍床は手前と奥、右屍床は手前のみ枕があります。副葬品では刀子・鉄環・鉄鍬の他、勾玉・管玉・小玉等の玉類約1,000個が出土しています。小玉にはライトブルーやコバルトブルーの他、赤茶色や黄色等も見られました。天理大学の置田雅昭教授等の文部省科学研究費重点領域遺跡探査班に協力を頂き、花粉分析・プラントオパール分析・寄生虫卵分析・脂肪酸分析等も行いました。人骨や歯は、残りが悪かったものの、右屍床から3人、左屍床から1人の歯がみつかっています。また、墓道の土層断面図から、最低4回は葬ったことがわかりました。特に2回目に玄室の拡張工事を行ったと思われる灰土の堆積層が見られました。

(高千穂町教育委員会 緒方俊輔)

# 創刊にあたって

宮崎県埋蔵文化財センター  
所長 藤本 健一

宮崎県には、豊かで美しい自然と先人の歴史文化を物語る数多くの遺跡がありますが、ここ10年ほどの発掘調査件数の飛躍的増加により、新たな遺跡の存在やその内容が明らかとなりつつあります。最近では東九州自動車道建設関連の調査も加わり、その出土品や調査記録類の保存・活用について新たな対応が求められておりました。

このような状況のなかで、宮崎県埋蔵文化財センターは、本年4月より博物館から独立する運びとなりました。

当センターでは、県民の文化向上と地域文化の振興に寄与するため、埋蔵文化財に関する調査・研究のほか、さまざまな情報や資料の提供などをおこなっていきたくと考えております。

今回、その一環として「埋蔵文化財通信みやざき」を発行することになりました。この所報が皆様に親しまれ、埋蔵文化財に対する愛顧思想を普及するための一助となるよう願っております。

今後とも、職員一同文化財保護事業の推進と向上に努力していく所存ですので、皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

## センターだより

当センターでは、発掘調査以外に、これまでに調査した遺跡から出土した遺物の整理業務や、展示などの教育普及事業もおこなっています。

今年度実施している整理業務及び教育普及事業はつぎのとおりです。

### 遺物整理業務

遺跡名	市町村名	調査年度
広木野・神殿A	高千穂町	平成4、6年度
南平第3	高千穂町	平成7年度
高鍋城	高鍋町	平成7年度
志戸平	新富町	平成6、7年度
余り田	宮崎市	平成7年度
中尾地区	宮崎市	平成6、7年度
郡司分	宮崎市	平成6、7年度
右葛ヶ迫	宮崎市	平成6、7年度
時屋地区	宮崎市	平成6～8年度
薮田	宮崎市	平成7、8年度
西下本庄	国富町	平成6年度
天神河内第2	田野町	平成7年度
牧の原第2	都城市	平成8年度
立山	高原町	平成6年度
内山城	須木村	平成7年度
東九州自動車道関連	清武町ほか	平成7年度

### 教育普及事業

埋文講座「遺跡をたずねて」

期日	講座名
H9. 1.25	高岡麓遺跡の調査
H9. 2.22	祇園原地区遺跡の調査(コーナー解説)
H9. 3.22	地下式横穴墓からみた日向の古墳時代

### コーナー展

H8.10.9～H9.2.2 山田ノ第1遺跡の調査  
H9.2.5～ 3.31 祇園原地区遺跡の調査

このほか、既に報告書刊行済みの遺跡出土遺物の収蔵作業もおこなっています。

# 現場だより

## ① ～広原地区遺跡（高原町大字広原）～

広原地区遺跡は、霧島山麓を西側に望む標高約200mの丘陵地に位置しています。

調査は、宮崎フリーウェイ工業団地造成事業に伴い、現在も調査が行われています。

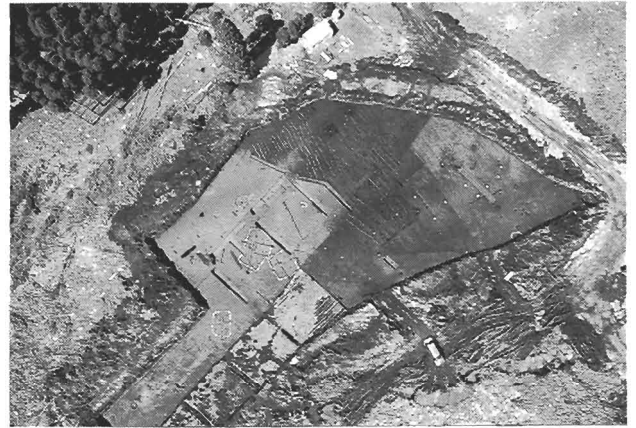
これまでの調査の結果、古墳時代の竪穴住居跡8軒、平安時代頃の畠跡や掘立柱建物跡、時期不明の溝状遺構や土坑などが確認されています。

当遺跡で特に注目されることは、これまでに調査を行った約35,000㎡のほとんどに9～10世紀代と思われる畠跡が確認されていることです。

12～13世紀頃に降下したとされる高原スコリア（通称 焼けボラ）の下に10世紀頃に降下したと推定される火山灰が堆積し、その下の層から畠跡が確認されています。共伴する遺物は、平安時代中期頃の土師器や須恵器、土製紡錘車などがあります。この畠で栽培されていた作物については今のところ断定できませんが、自然科学分析の結果では、稲や雑穀の可能性は低いと考えられています。また、畝同士の重複（切り合い）がほとんど見られないことから、畠の経営期間が短かったのではないかと考えられます。

南九州において同時期の畠跡がみついている遺跡としては、鹿児島県指宿市の橋牟礼川遺跡がありますが、共に平安時代の農業生産や生活を考える上で重要な遺跡といえます。

（久木田 浩子）

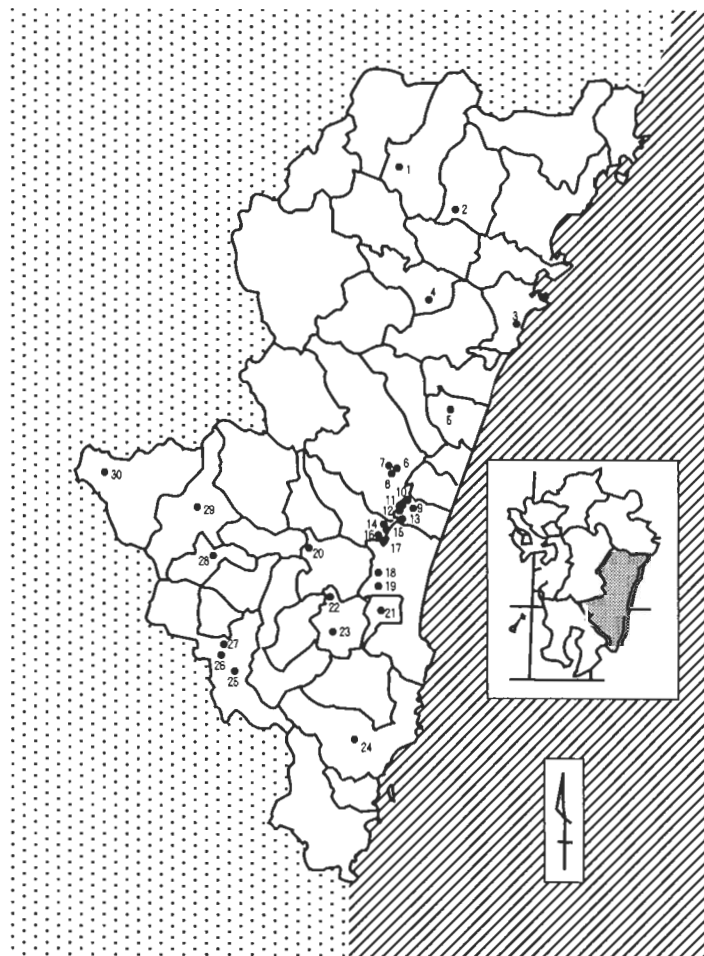


第Ⅰ表土		
第Ⅱ-a	暗褐色焼ボラ層。ボラ粒1cm大	12～13世紀頃に降ったと思われる高原スコリア含(通称 焼けボラ)。
第Ⅱ-b	黒色の有機物層。スキの炭化物あり	
第Ⅱ-c	焼ボラ細粒子層。ボラ粒子数mm程	
第Ⅲ-a 5cm	黒褐色土。高原スコリアの細粒を多少含む。	
第Ⅲ-a' 1cm	黒色の有機物層。	
第Ⅲ-b 5～6cm	暗灰褐色火山灰層。10世紀頃に降った火山灰か?	遺物を含む層
第Ⅲ-c 12～13	暗褐色土。火山性の噴出物多少含む。古代の遺物含む。	
第Ⅳ 25cm	褐色土。縄文～古代の遺物を含む。(弥生～古代が中心)	
第Ⅴ 30～35cm	黄褐色土。2～3cm程の御池ボラ含む。遺物は含まない。	
第Ⅵ 35～40cm	高千穂ノ峰起源の牛の軽火山灰の上層	
第Ⅶ 30～40cm	鬼界カルデラ起源のアカホヤ火山灰層。(約6,300年前)	
第Ⅷ 40～45cm	牛の軽火山灰下層。	
第Ⅸ 10cm	褐色土層。	
第Ⅹ	黒褐色土層。	
第Ⅺ	褐色ローム層。	

# 宮崎県内で現在調査中の遺跡 ～遺跡をのぞいてみよう！～

(8年12月1日現在)

遺跡名	所在地	調査担当	調査期間	遺跡の時代など
1 布平	日之影町大字七折字布平	県	8.11.25～9.3.31	縄文後～晩期
2 速日峰地区	北方町巳早日渡	北方町	8.5.21～9.3.21	縄文早期、弥生後期～古墳前期
3 本村	日向市大字平岩字本村	日向市	8.11.5～12.8	旧石器～縄文早期
4 上ノ原	西郷村大字田代	西郷村	8.10.30～9.2.16	縄文、弥生
5 霧島	川南町大字川南字霧島	県	8.11.18～12.13	縄文早期
6 寺崎	西都市大字右松	県	8.10.14～12月末	国衛郡衛確認調査
7 西都原古墳群	西都市大字三宅	県	8.6.4～9.3.31	13号墳、4号地下式横穴墓
8 市内遺跡	西都市大字三宅字国分	西都市	8.11下旬～12中旬	日向国分寺伽藍配置確認
9 佐土原城跡	佐土原町大字上田島字追手	佐土原町	8.11～9.2月	近世(天守台跡)
10 佐土原村古城周辺	佐土原町大字上田島	県	8.7月～9.3.31	古墳時代、古代～中世
11 山内・桜原	佐土原町大字西上那珂	県	8.8月～9.3.31	縄文早期
12 上の原	佐土原町大字西上那珂	県	8.9月～9.3.31	縄文早期、中世
13 長藪原	佐土原町大字西上那珂	県	8.9月～9.3.31	旧石器、縄文早期
14 松元	国富町大字木脇	県	8.7月～9.12.31	縄文早期
15 井出口	国富町大字木脇	県	8.5月～12.31	古代
16 木脇	国富町大字木脇	県	8.9月～9.3.31	旧石器、縄文早期、古代
17 塚原	国富町大字塚原	県	8.9月～9.3.31	時期不明 水田跡
18 内宮田	宮崎市大字浮田	県	8.8月～9.3.31	古代～中世
19 本城跡	宮崎市古城町	県	8.5月～9.3.31	中世
20 久木野(区)	高岡町大字浦之名字久木野	高岡町	8.10.23～12.27	縄文早期
21 竹ノ内	清武町大字今泉	県	8.5.16～9.3.31	縄文後期、中世
22 鹿毛第3	田野町野崎	田野町	8.10.21～9.1.31	縄文早期
23 元野河内	田野町元野	田野町	8.8.21～9.1.31	旧石器、縄文早期、前期
24 堂之元	日南市大字吉野方字堂之元	日南市	8.11.1～11.31	弥生、中世
25 中央東部地区遺跡群	都城市中町、天神町	都城市	8.11.5～9.1.24	弥生?、近世
26 鶴喰	都城市南横市町字鶴喰	都城市	8.11.11～9.3.25	弥生中期、中～近世
27 牧の原第2	都城市横市町	県	8.11.18～9.3.31	中世、平成9年度継続予定
28 広原	高原町大字広原	県	8.4.9～9.3.31	本誌3ページで紹介
29 大部	小林市大字真方字大部	小林市	8.7.24～9.1.31	縄文～近世
30 内小野	えびの市大字西川北字内小野	えびの市	8.8.19～9.1.31	縄文前期、弥生後期、古墳中～後期



詳しい情報を知りたい方は、調査担当の欄が県になっている遺跡は宮崎県埋蔵文化財センターへ、市町村になっている遺跡はその市町村教育委員会へお問い合わせください。

### 編集後期

創刊号ということで何もわからず、他の機関で刊行されているものを参考に何とか刊行にたどり着きました。ご迷惑をお掛けした皆様には感謝すると共に、今後、より良い紙面作りを目指して努力していきますのでよろしくお願いいたします。(T.M)

### 利用案内

- 観覧時間  
午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日  
毎週月曜日  
国民の祝日の翌日  
年末年始(12月28日～1月4日)
- 入館料 無料